

# バス運転者を巡る現状について



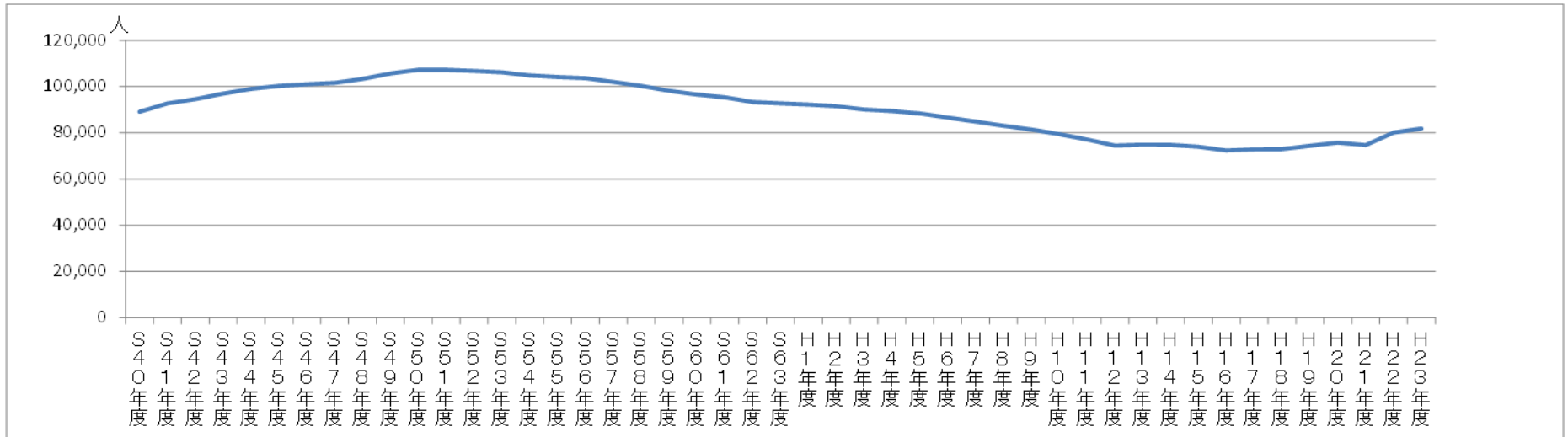
国土交通省

平成26年 4月25日

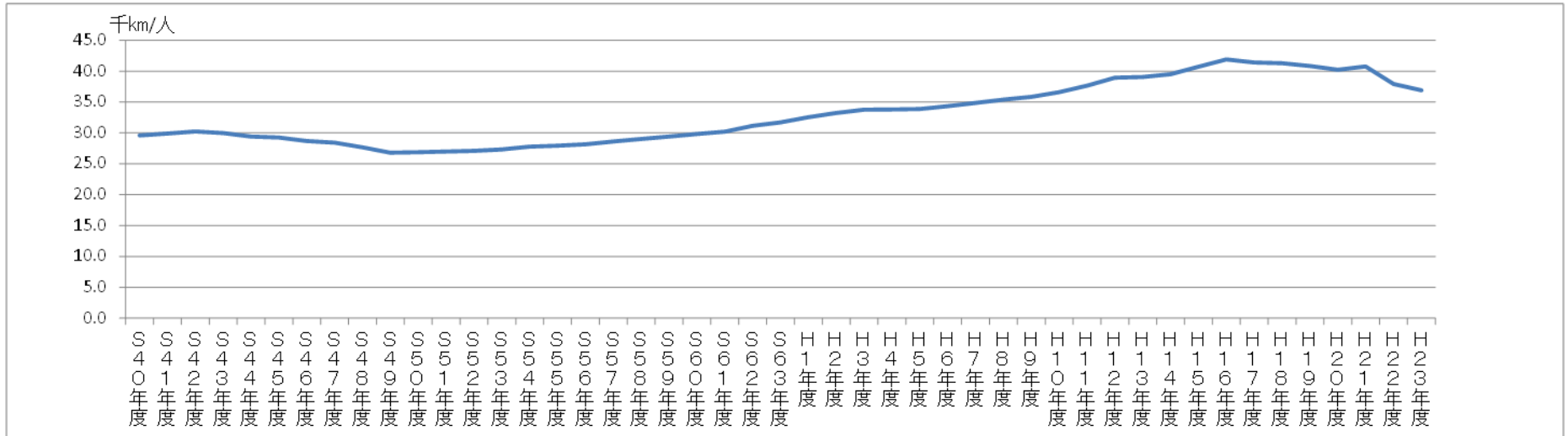
自動車局

# Ⅲ-1①. バス運転者数①

- 乗合バスの運転者数は、長期的にみると昭和51年をピークに減少傾向にあり、平成23年度(85千人)はピーク時から25%減少。
- 一方、運転者1人あたりの総走行キロは平成15年頃まで増加が継続したが、近年はやや減少に転じている。



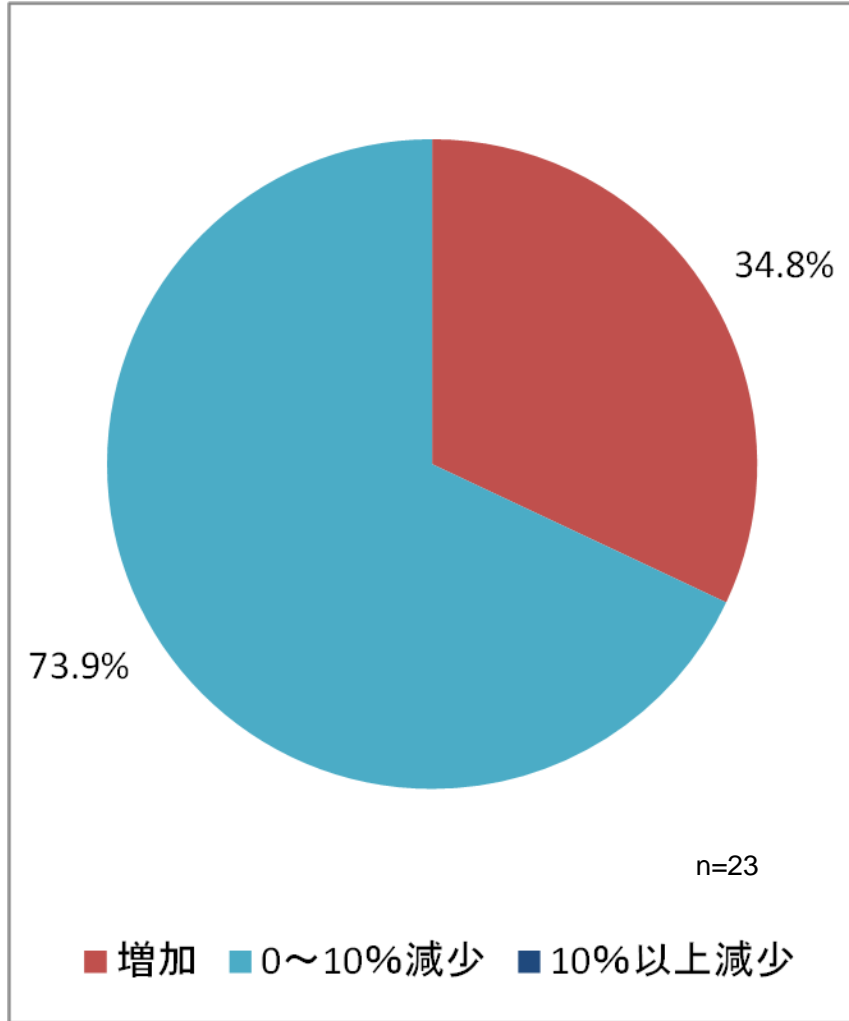
▲乗合バス運転者数の推移



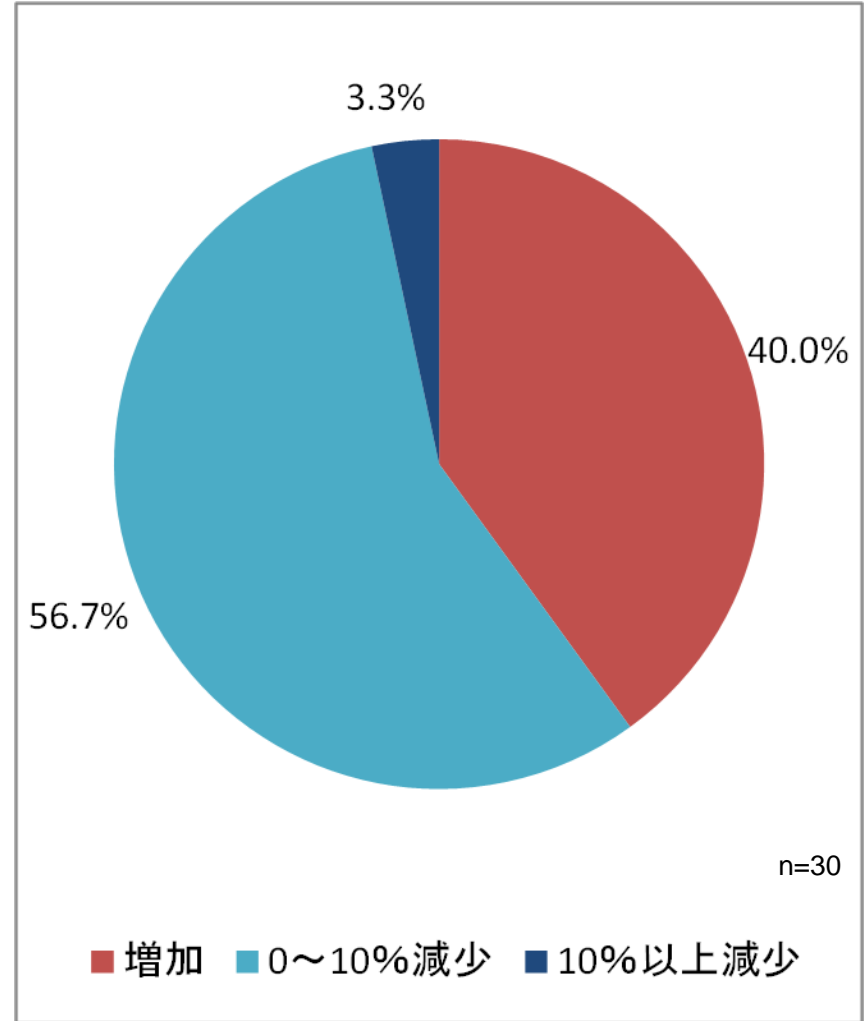
▲乗合バス運転者1人あたりの総走行キロ

# Ⅲ-1 ② . バス運転者数② (ヒアリング・アンケート調査結果より)

○ヒアリング又はアンケートの対象とした乗合バス事業者の23者のうち74%の事業者は、平成24年のバス運転者数が平成23年に比べて減少したと回答した(貸切事業者7者も含めれば57%)。



▲H24のバス運転者期末要員数(乗合事業者)



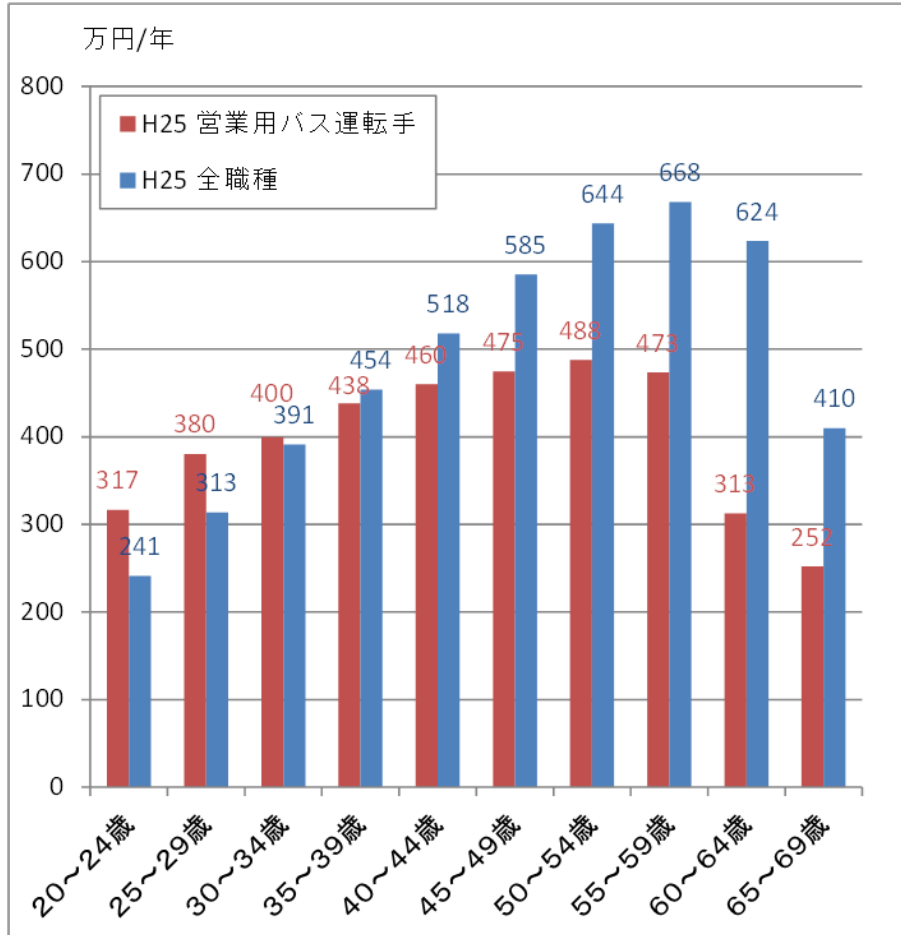
▲H24のバス運転者期末要員数(全事業者)

※H25バス事業者アンケート・ヒアリング結果  
(対象:バス協会労務委員会委員、検討会員等53社のうち回答を得た35社) 2

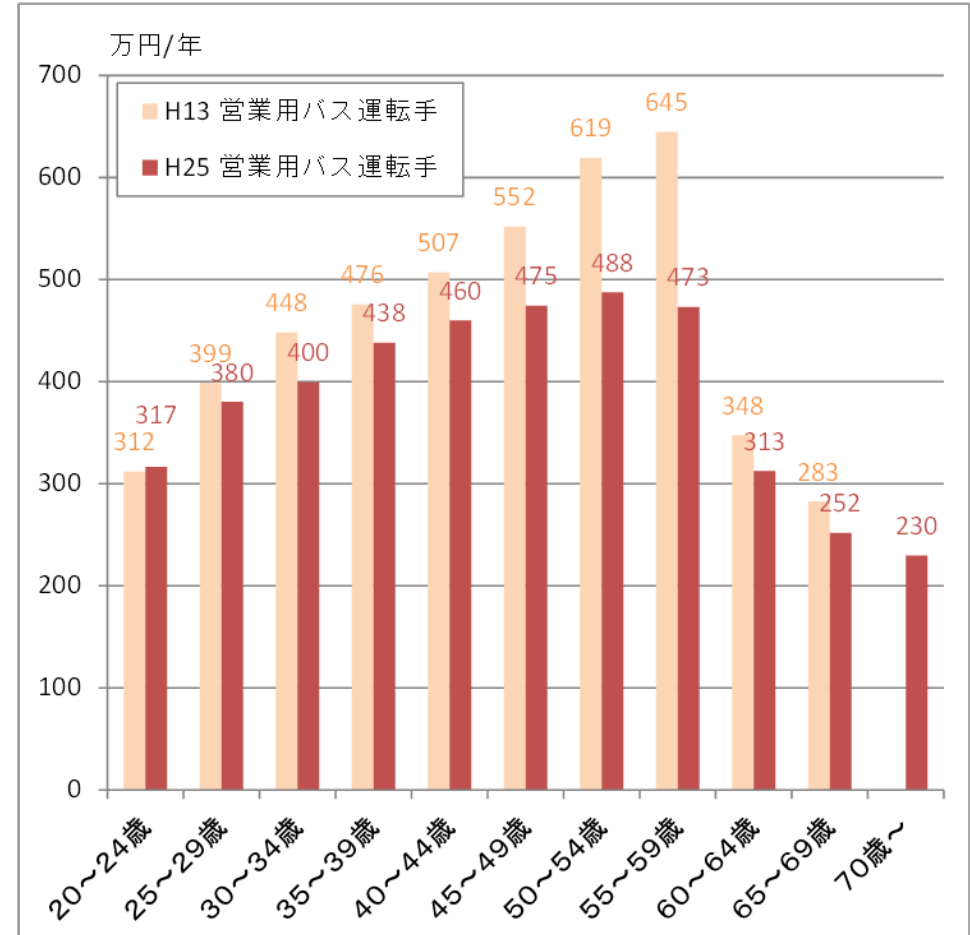
# Ⅲ-2①. バス運転者の労働環境①

## (1) バス運転者の年収

- 年齢別のバス運転者の年収をみると、年齢による増減幅が比較的小さい。34歳以下では全職種よりも年収が高いが、35歳以上では全職種よりも低くなっている。
- 平成13年のデータをみると、当時は年齢とともに年収が右肩上がりとなっていた。平成25年のデータでは、平成13年に比べると特に50歳代の落ち込みが大きい。



▲年齢別の営業バス運転者の年収



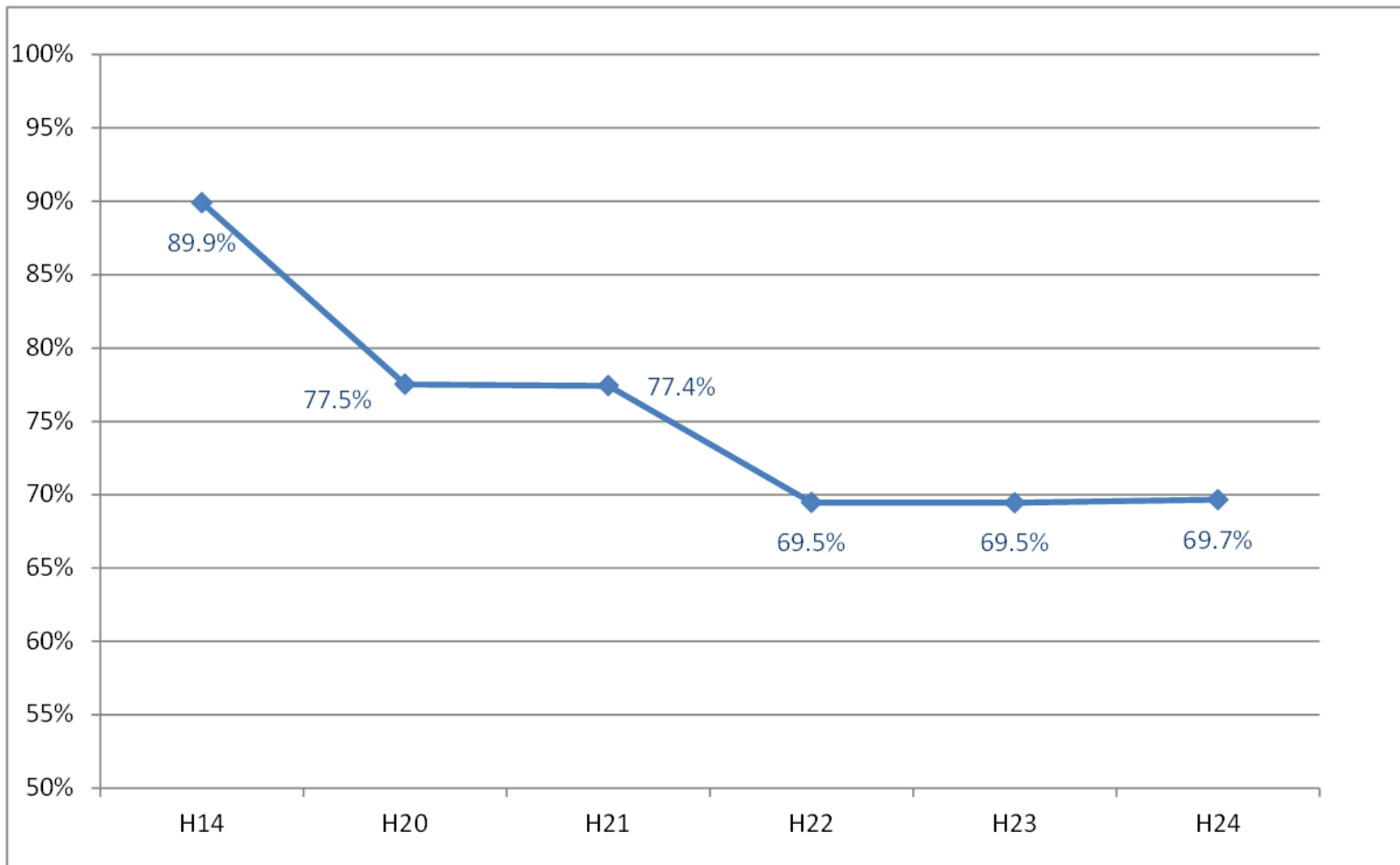
▲年齢別営業バス運転者の年収の年代による比較

※年収：(決まって支給する現金給与額)×12ヶ月+(年間賞与その他特別給与額)

資料：賃金構造基本統計調査

(2) 1人当たりの人件費と正社員割合

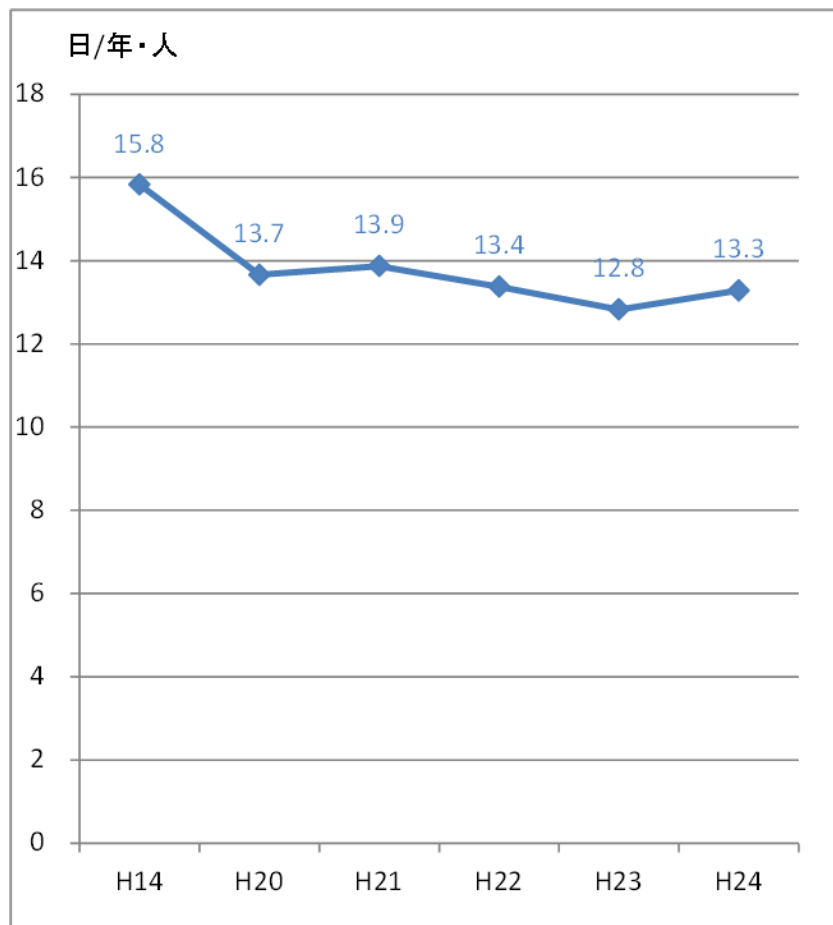
○今回のヒアリング又はアンケートの結果を見ると、バス運転者の年収低下の原因の一つとして、正社員割合が低下していることが考えられる。



▲正社員割合の推移

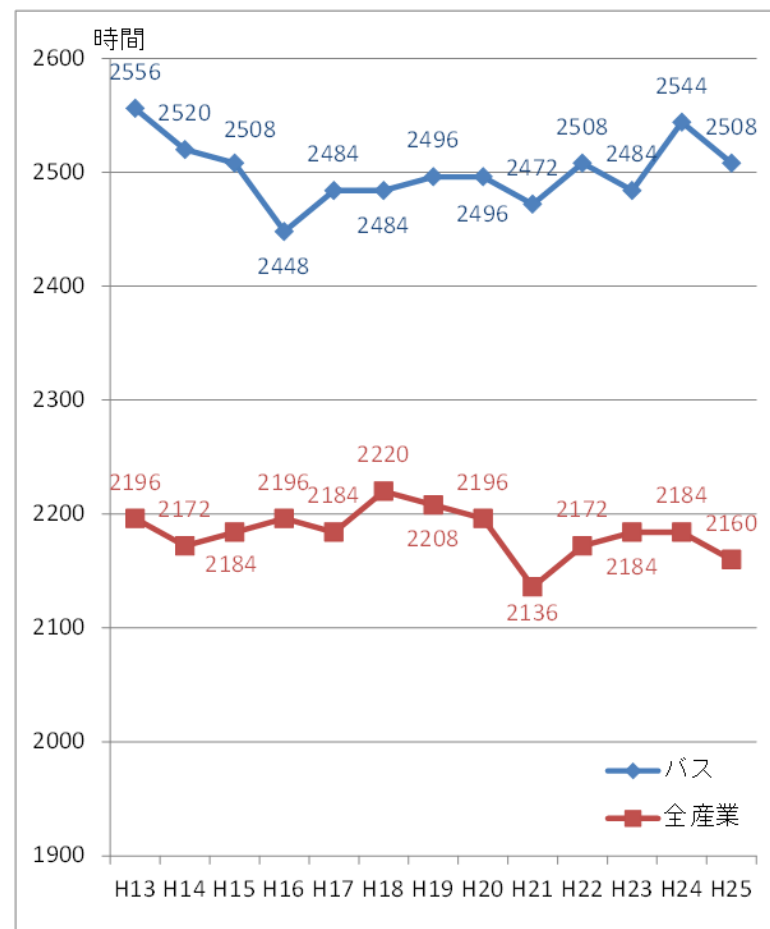
(3) 有給取得日数

○今回のヒアリング又はアンケートの結果を見ると、有給取得日数は13日ほどであり、平成14年よりも3日程度減少している。



▲バス運転者1人あたりの有給取得日数

資料: H25バス事業者アンケート・ヒアリング結果



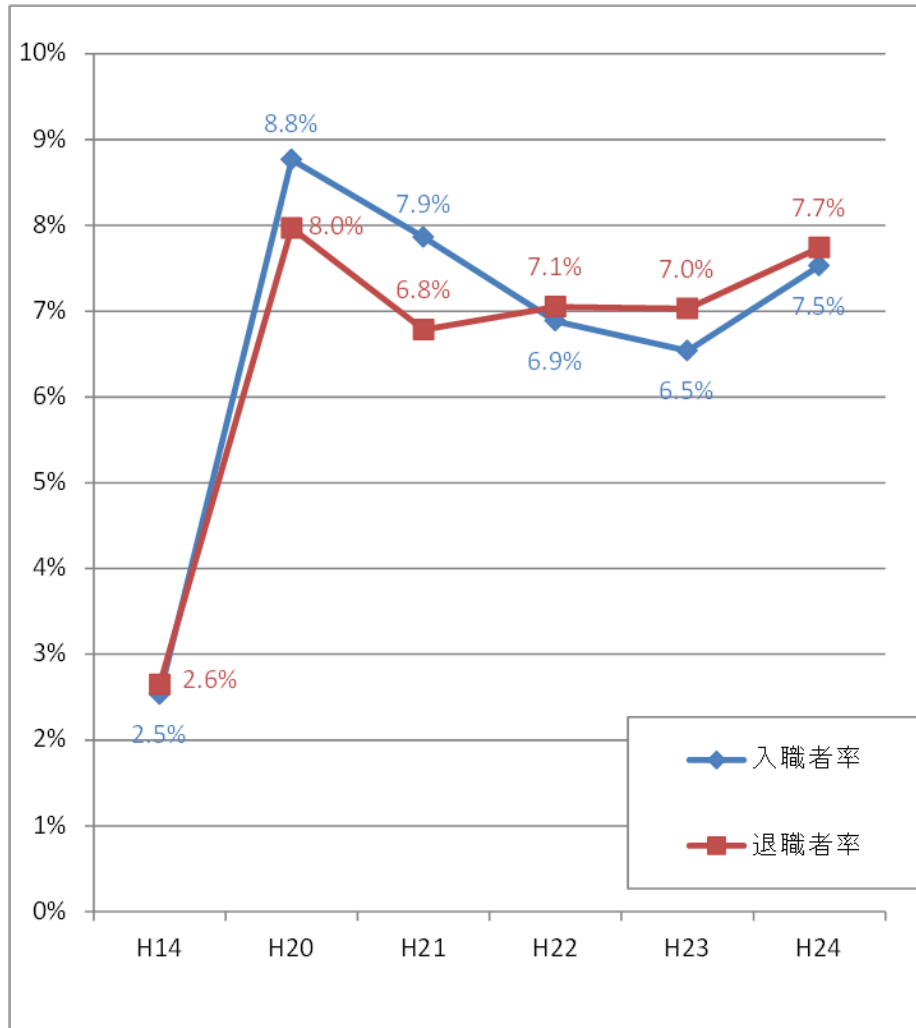
▲【参考】バス運転者1人あたりの年間労働時間

資料: 賃金構造基本統計調査

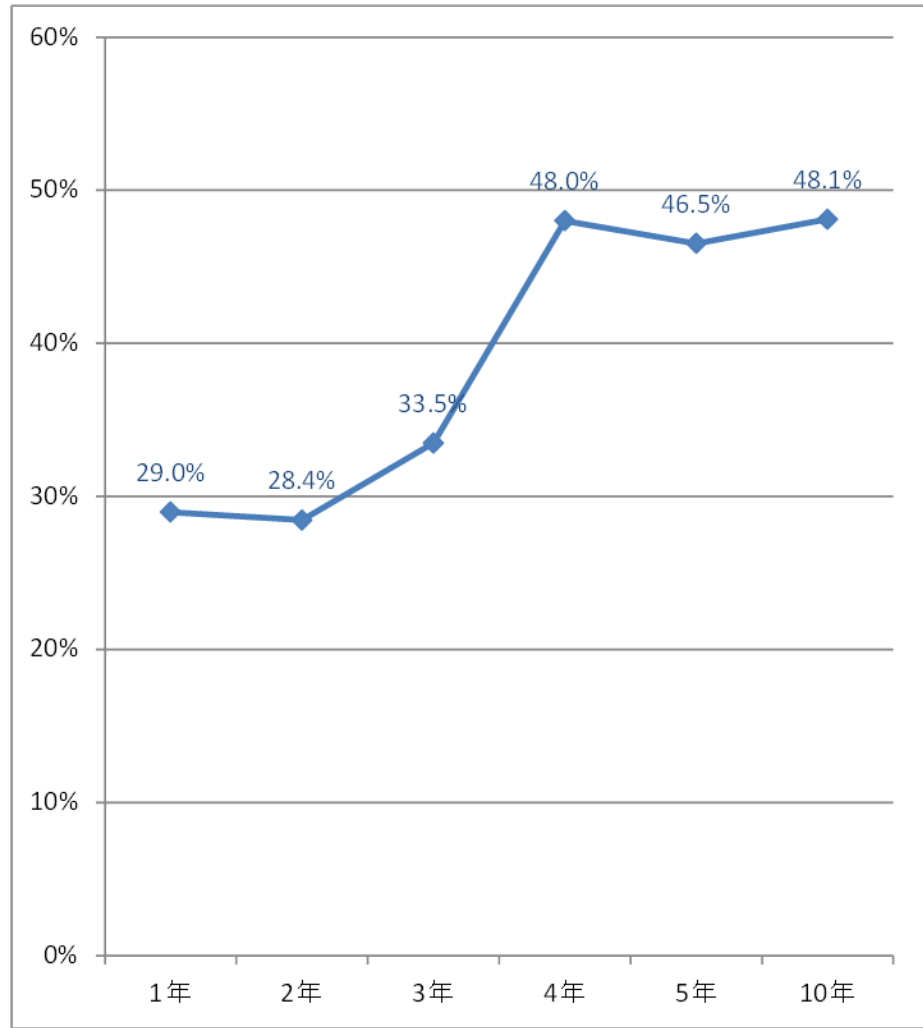
# III-3. バス運転者の入職、退職状況(ヒアリング・アンケート調査結果より) 国土交通省

○今回のヒアリング又はアンケートの結果を見ると、期末要員数に対する入職者・退職者の割合は、平成14年よりも5ポイント上昇しており、バス運転者の出入りが激しくなっている。

○離職率は、1年で29%、4年で48%に達している。



▲期末要員数に対する入職者・退職者の割合

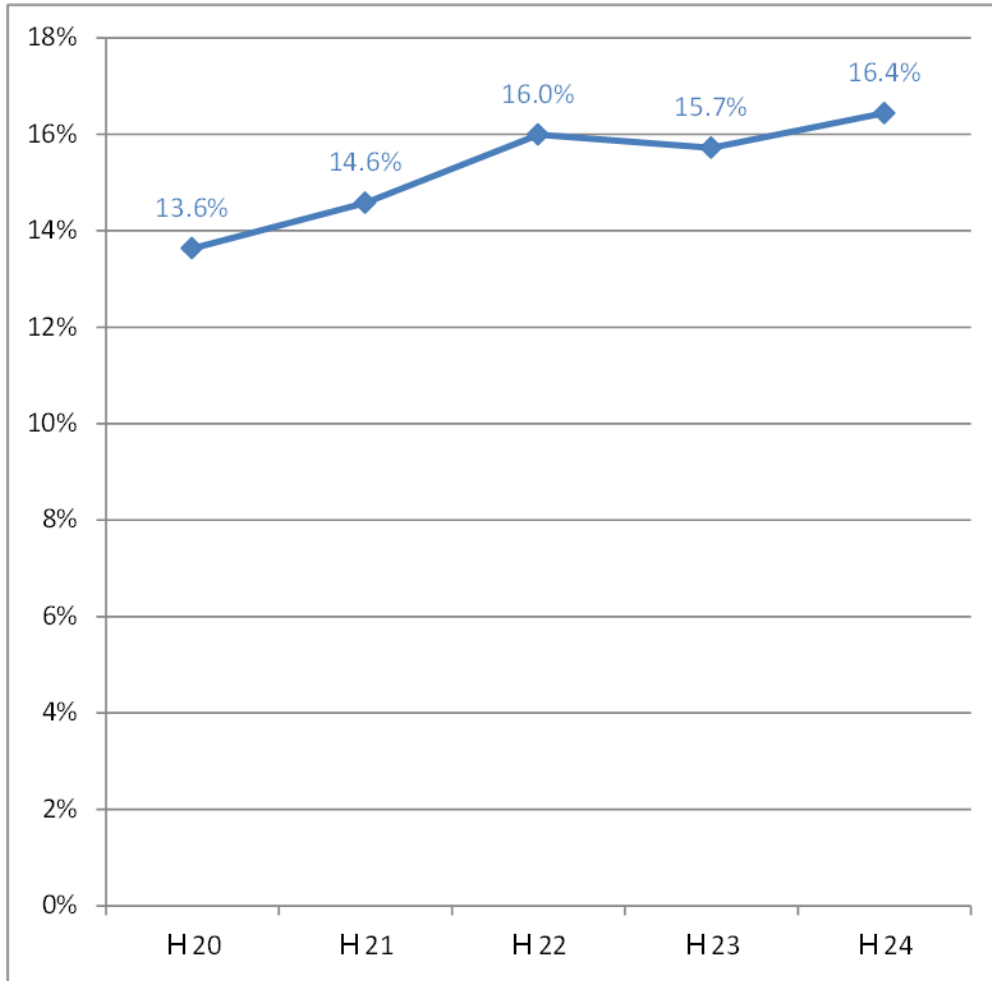


▲離職率

※H25バス事業者アンケート・ヒアリング結果

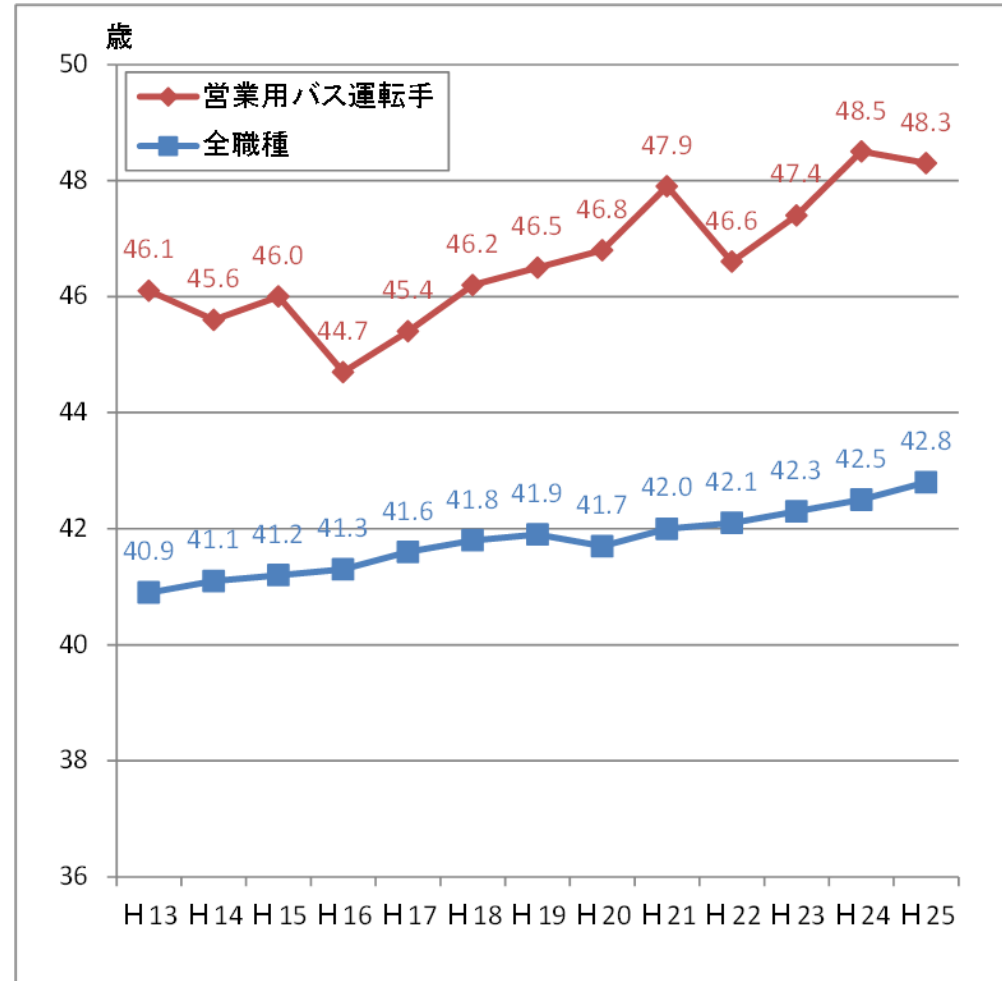
# III-4. 高齢運転者の状況

○高齢のバス運転者の割合は年々増加しており、平成24年で6人に1人が60歳以上。



▲高齢運転者(60歳以上)の割合

資料:「日本のバス事業」(日本バス協会)



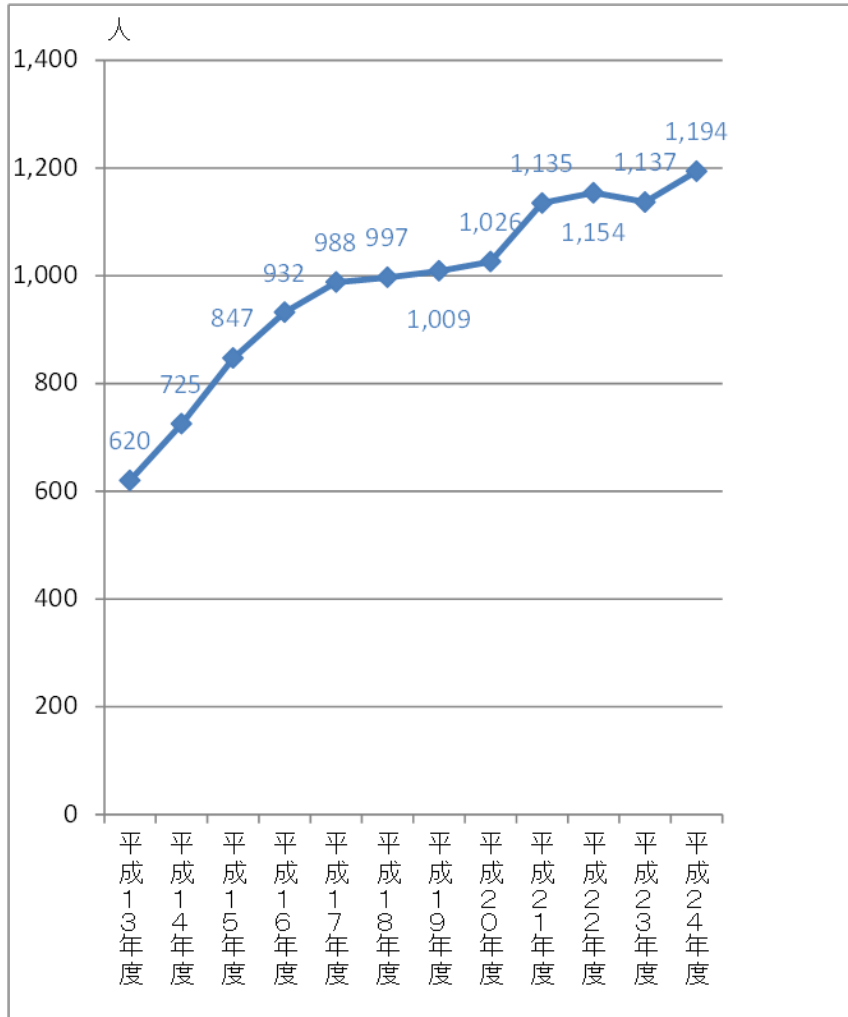
▲【参考】バス運転者の平均年齢

資料:賃金構造統計基本調査 7

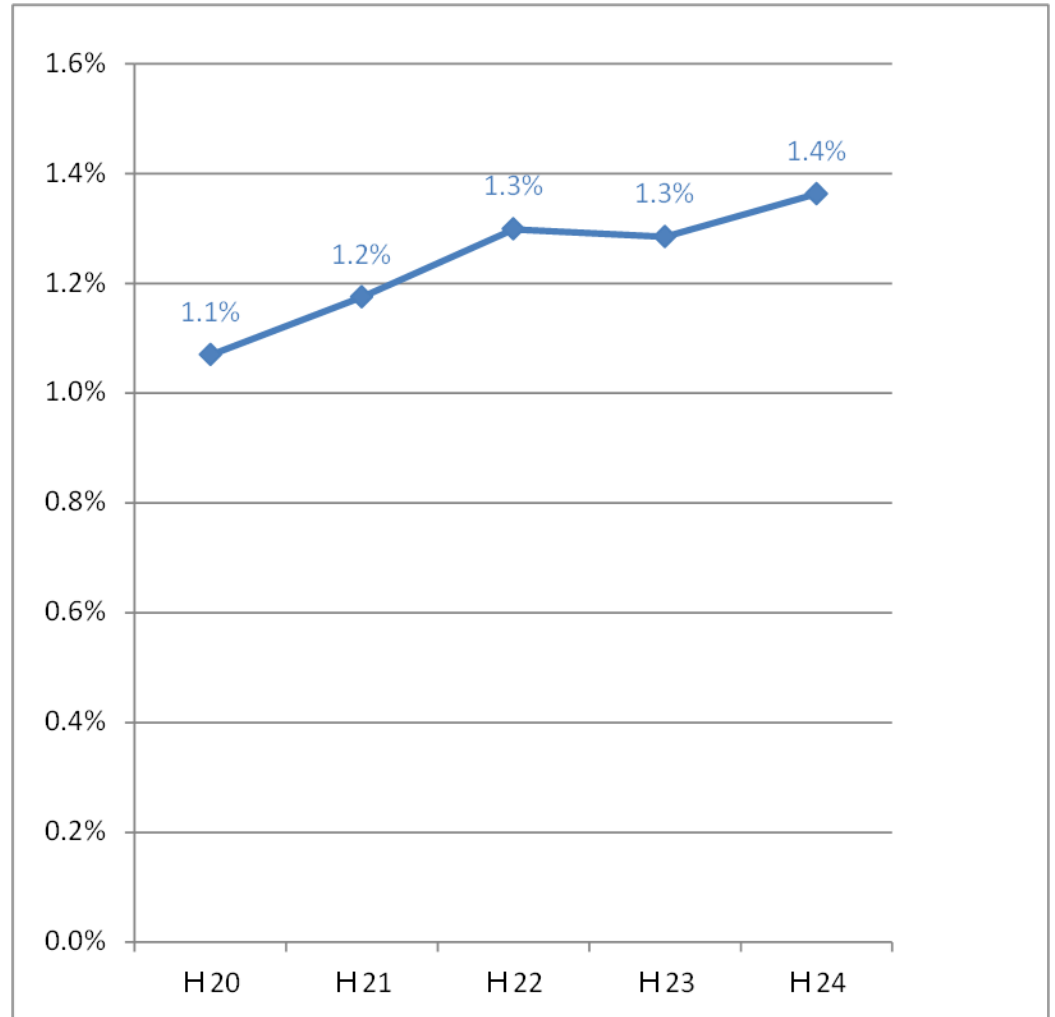


# III-5. 女性運転者の状況

○女性のバス運転者は増加傾向にあり、全国で約1,200人存在しているが、その割合は、1%台にとどまる。



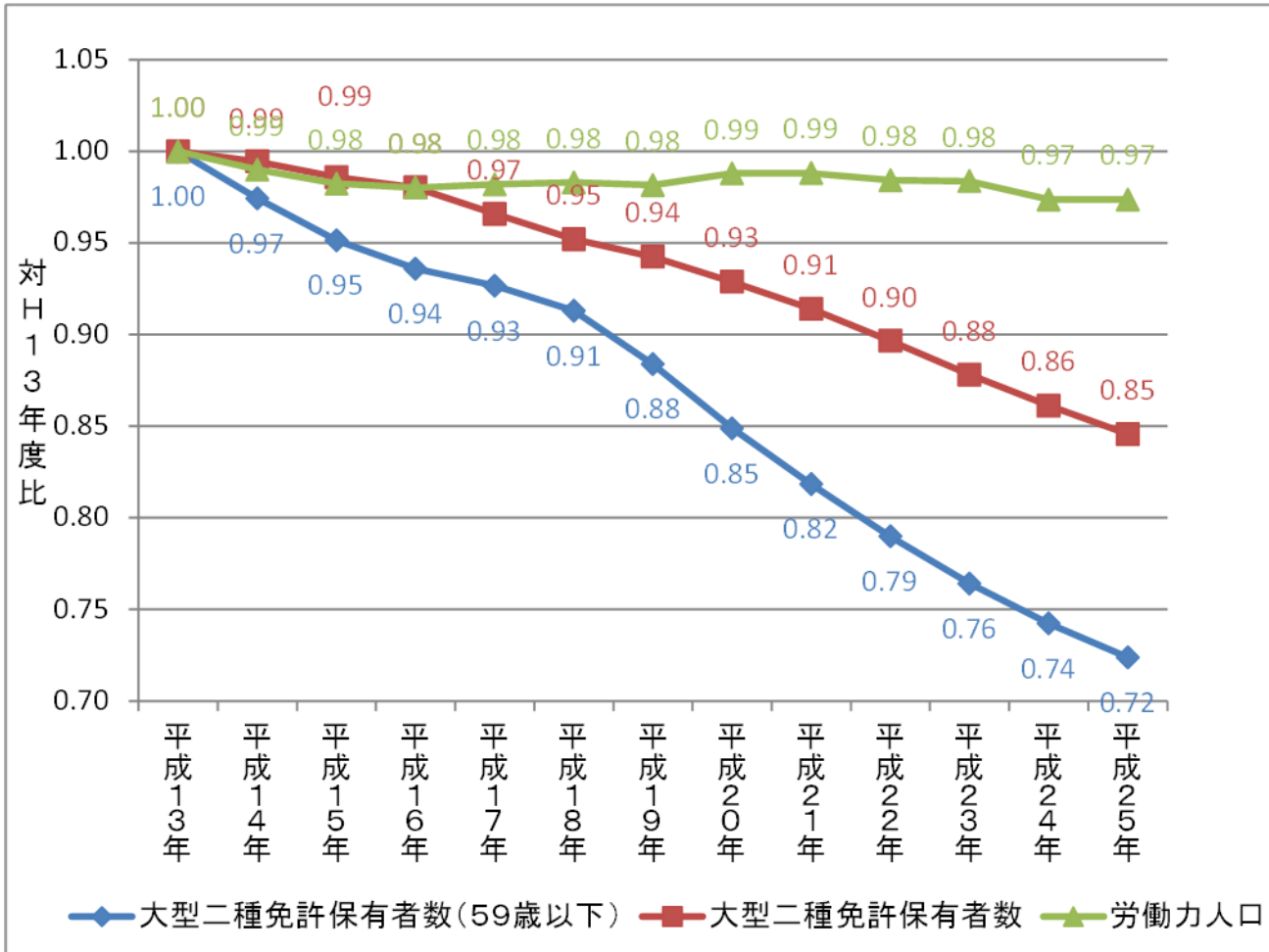
▲女性運転者数の推移(日本バス協会加盟乗合・貸切合計)



▲女性運転者の割合の推移(日本バス協会加盟乗合・貸切合計)

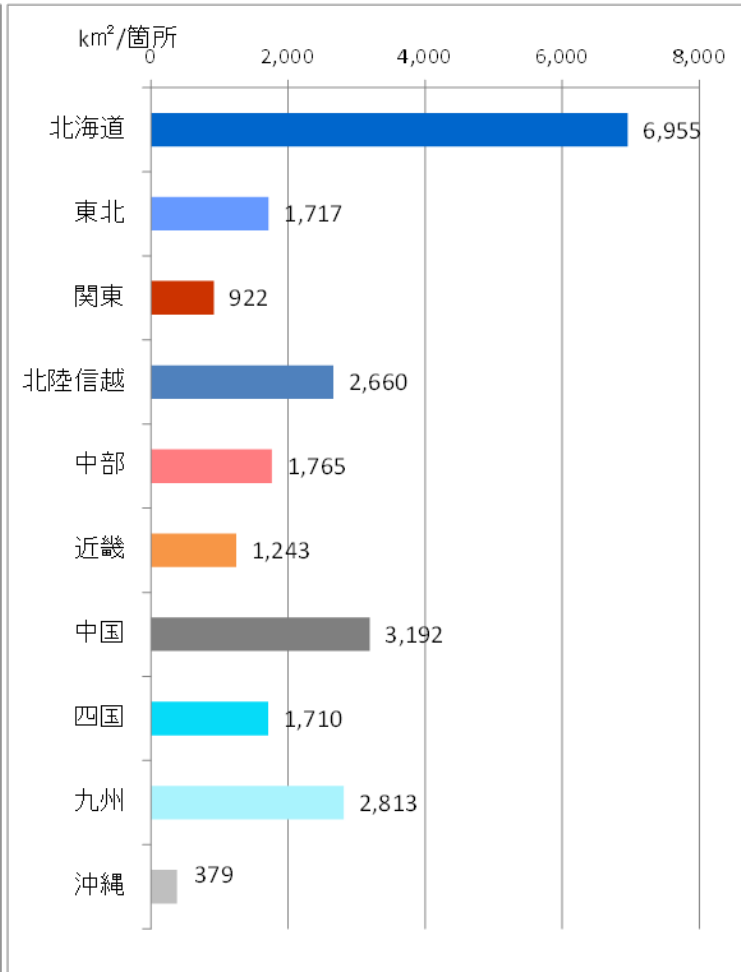
# Ⅲ-6 ① . 大型二種免許の保有状況①

- 大型二種免許保有者数は年々減少し、平成25年は平成13年よりも15%減少している。
- 特に、59歳以下の保有者数の減少が著しく、平成25年は平成13年よりも28%減少している。
- また、北海道、中国、九州、北陸信越は、面積に対して大型二種免許取得可能な教習所数が少ない。



▲大型二種免許取得取得者の推移

資料: 運転免許統計



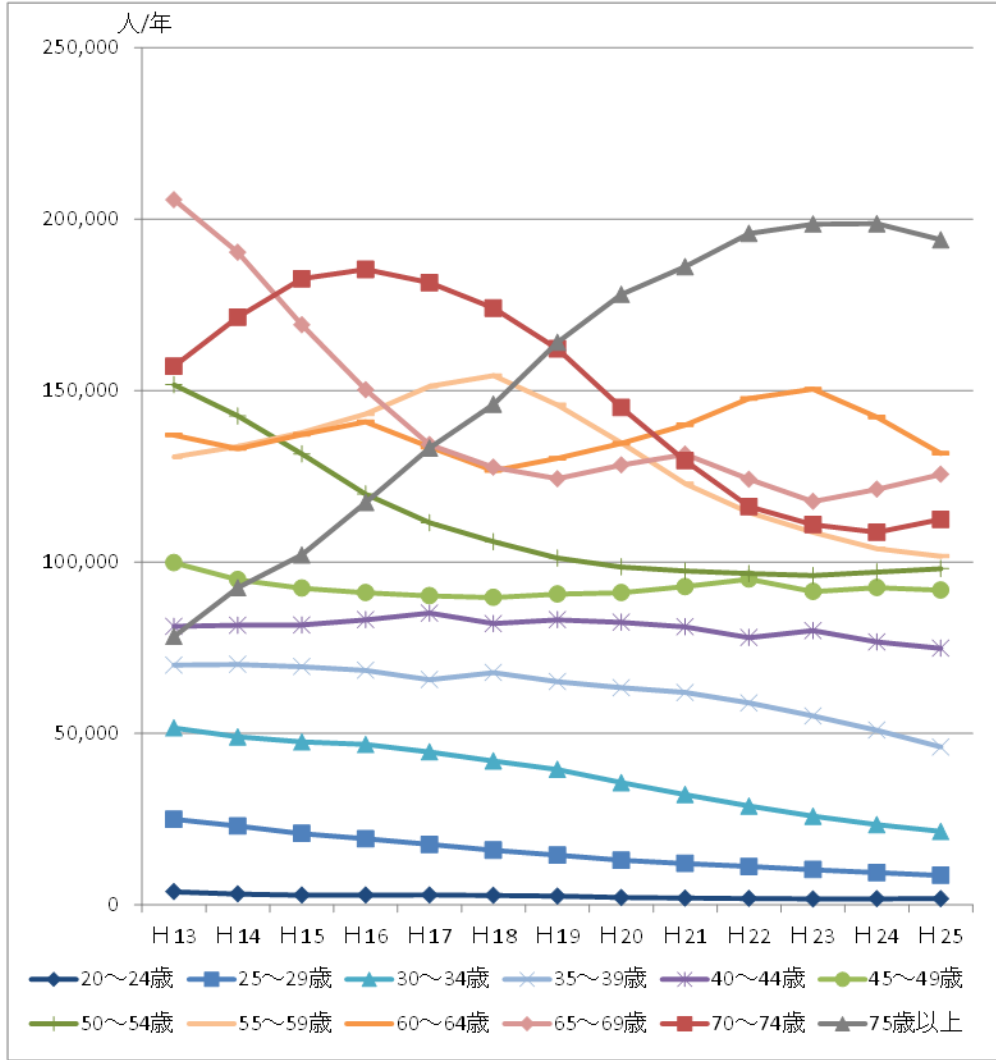
▲大型二種免許取得可能教習所当たりの面積

資料: 各自動車教習所HP

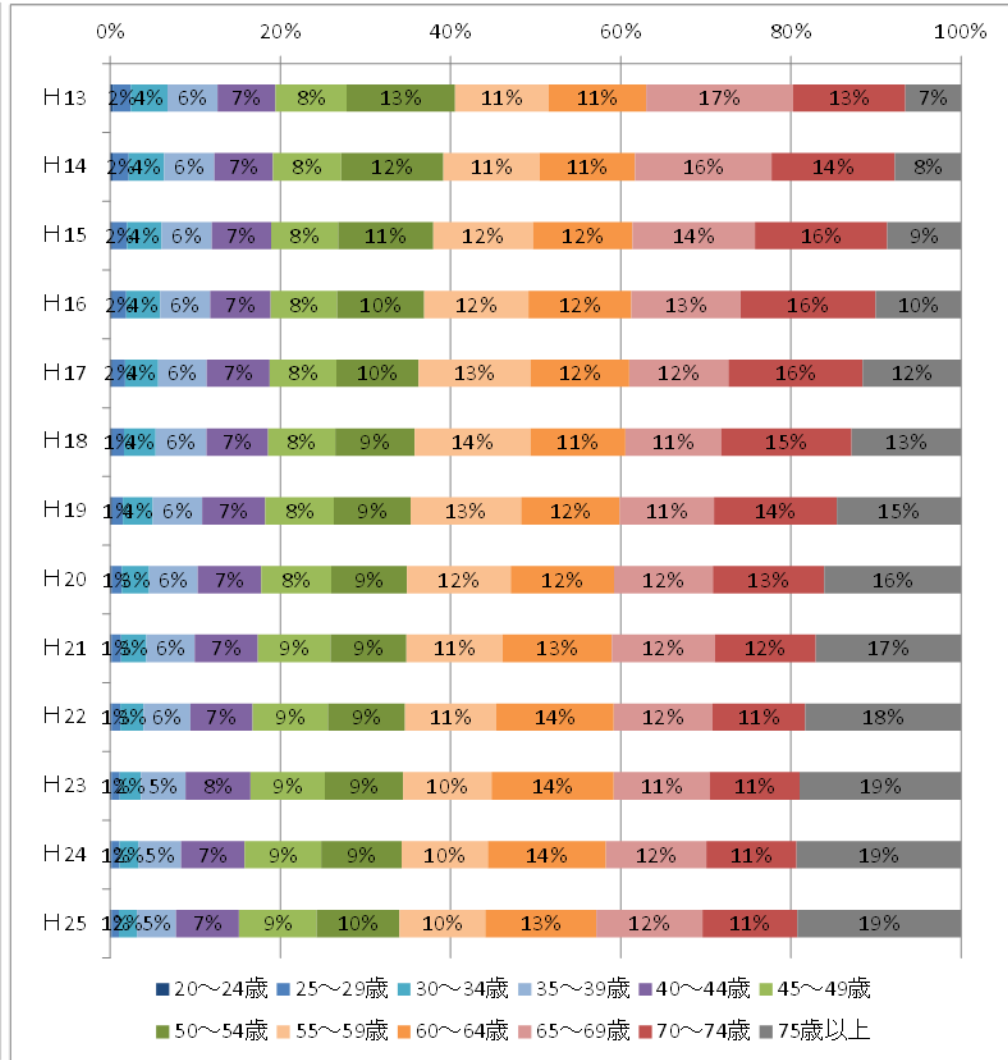
# Ⅲ-6②. 大型二種免許の保有状況②

○大型2種免許の保有者では、75歳以下の割合が年々減少しており、平成13年の全体の93%から平成25年は全体の約80%まで落ち込んだ。

○40歳未満の保有者の割合は年々減少しており、平成25年では全体の10%に満たない。



▲年齢別大型二種免許保有者数の推移



▲大型二種免許保有者の年齢構成の推移

# III バス運転者を巡る現状(まとめ)

## バス運転者数

- 乗合バスの運転者数は昭和51年をピークに減少傾向。平成23年度はピーク時から約25%減少。
- 運転者1人あたりの総走行キロは平成15年頃まで増加が継続したが、近年は減少に転じている。
- 乗合バス事業者の74%は、平成24年のバス運転者数が平成23年に比べて減少したと回答。

## 労働環境

- 年齢別のバス運転者の年収をみると、年齢による増減幅が比較的小さく、34歳以下では全職種よりも年収が高いが、35歳以上では全職種よりも低くなっている。
- 平成13年当時は、年齢とともに年収が右肩上がりとなっており、平成25年は特に50歳代の落ち込みが大きい。
- バス運転者の年収低下の原因の一つとして、正社員割合が低下していることが考えられる。
- 有給取得日数は約13日。平成14年よりも3日程度減少。

## 入職、退職状況

- 入職者・退職者割合は平成14年よりも5ポイント上昇。バス運転者の出入りが激しくなっている。
- 離職率は、1年で29%、4年で48%に達している。

## 女性運転者・高齢運転者

- 高齢のバス運転者の割合は年々増加しており、平成24年で6人に1人が60歳以上。
- 女性のバス運転者は増加傾向にあるが、全体に占める割合は1%台で伸びは小さい。

## 大型二種免許の保有

- 大型二種免許保有者数は年々減少し、平成25年は平成13年よりも15%減少。
- 特に、59歳以下の保有者数の減少が著しく、平成25年は平成13年よりも28%減少。
- 75歳以下の保有者の割合が年々減少しており、平成13年の93%から平成25年は80%まで減少。
- 40歳未満の保有者の割合は年々減少しており、平成25年では全体の10%に満たない。
- 北海道、中国、九州、北陸信越は、面積に対して大型二種免許取得可能な教習所数が少ない。

**○バス運転者及び大型2種免許保有者の減少と高齢化・若年層の減少の進行**

**○定着率の悪化**

**○進まない女性の登用**

**○労働環境（年収、労働時間、雇用形態）の悪化**